

大学番号：私142

[平成31年度設置]

計画の区分：大学の設置

認可

長岡崇徳大学 看護学部 看護学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 悠久崇徳学園
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 カチョウ ウチ ヤマ タカ アキ
課長 内 山 卓 秋

電話番号 0258-46-6666

F A X 0258-86-6637

e-mail soumu@sutoku-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

<看護学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 附帯事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人悠久崇徳学園

(2) 大 学 名

長岡崇徳大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒940-2135

新潟県長岡市深沢町2278番地 8

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(タミヤ タカシ) 田宮 崇 (平成26年7月)	該当なし	該当なし
学 長	(モリ ヒロシ) 森 啓 (平成31年4月)	該当なし	該当なし
看護学部長	(ナカムラ エツコ) 中村 悦子 (平成31年4月)	該当なし	該当なし
看護学科長	(ナカムラ エツコ) 中村 悦子 (平成31年4月)	該当なし	該当なし

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	4年	80人	該当なし 人	320人	該当なし

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		令和元年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 80 (—) [—]	人 — (—) [—]	0.53倍	—	該当なし
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	94 (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	88 (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	82 (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	43 (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		0.53				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、() 書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	43 [—] (—)	— [—] (—)	該当なし
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)		— [—] (—)		— [—] (—)		— [—] (—)		43 [—] (—)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	43 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	0 人	0 人	該当なし
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{43} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基礎 教育 科目	情報処理法	1前	1									1
	情報活用法	1後	1									1
	統計分析法	3前	1									1
	問題解決法	1後		2								1
	英語Ⅰ	1前	2									1
	英語Ⅱ	1後		2								1
	日本語Ⅰ	1前	1									1
	日本語Ⅱ	1前		1								1
	日本語Ⅲ	1後		1								1
	日本語Ⅳ	4前		1		1						
	中国語	4前		2								1
	韓国語	4前		2								1
	地域活動論	1前		2								1
	コミュニケーション論	1後	2									1
	リーダーシップ論	4後		1		1						
	キャリアデザインⅠ	1前	1			1						
	キャリアデザインⅡ	2前		1		1						
	キャリアデザインⅢ	4前		1		1						
	発達心理学	1前		2								1
	生命倫理学	1後	2									1
	健康スポーツⅠ	1前		1								1
	健康スポーツⅡ	1後		1								1
	歴史と文化	2後		2		1						
	民族と宗教	4後		2								1
	自然環境論	1後		2								1
	日本国憲法	1後	2									1
	福祉と保障	1後		2								1
	経済と政策	4後		2								1
	国際ボランティア論	4後		1		1	1					
	スタディスキルズ	1前	1			3						
	看護教育のための生物学	1前			1							1
	看護教育のための化学	1前			1							1
	小計(32科目)	－	14	31	2	4	1	0	0	0	0	17
専門 基礎 科目	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2									1
	人体の構造と機能Ⅱ	1前	2									1
	人体の構造と機能Ⅲ	1後	1									1
	栄養学	1後	2									1
	感染免疫学	2前	2									1
	疾病治療論Ⅰ(循環器)	2前	1									1
	疾病治療論Ⅱ(呼吸器・消化器)	2前	1									2
	疾病治療論Ⅲ(内分泌・ 腎・代謝・婦人科)	2前	1									2
	疾病治療論Ⅳ(造血管・運動器)	2後	1									2
	疾病治療論Ⅴ(脳神経・精神)	2後	1									2
	病理病態学	4後		1								1
	薬理学	2前	1									1
	保健統計学	2後	2									1
	保健医療福祉行政論	1後	2									1
	公衆衛生学	2前	1									1
	看護関係法規	4後	1									1
	疫学	2後		2								1
小計(17科目)	－	21	3	0	0	0	0	0	0	0	16	

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎 教育 科目	情報処理法	1前	1								1
	情報活用法	1後	1								1
	統計分析法	3前	1								1
	問題解決法	1後		2							1
	英語Ⅰ	1前	2								1
	英語Ⅱ	1後		2							1
	日本語Ⅰ	1前	1								1
	日本語Ⅱ	1前		1							1
	日本語Ⅲ	1後		1							1
	日本語Ⅳ	4前		1		1					
	中国語	4前		2							1
	韓国語	4前		2							1
	地域活動論	1前		2							1
	コミュニケーション論	1後	2								1
	リーダーシップ論	4後		1		1					
	キャリアデザインⅠ	1前	1			1					
	キャリアデザインⅡ	2前		1		1					
	キャリアデザインⅢ	4前		1		1					
	発達心理学	1前		2							1
	生命倫理学	1後	2								1
	健康スポーツⅠ	1前		1							1
	健康スポーツⅡ	1後		1							1
	歴史と文化	2後		2		1					
	民族と宗教	4後		2							1
	自然環境論	1後		2							1
	日本国憲法	1後	2								1
	福祉と保障	1後		2							1
	経済と政策	4後		2							1
	国際ボランティア論	4後		1			1	1			
	スタディスキルズ	1前	1				3				
	看護教育のための生物学	1前			1						1
	看護教育のための化学	1前			1						1
	小計(32科目)	－	14	31	2	4	1	0	0	0	17
専門 基礎 科目	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2								1
	人体の構造と機能Ⅱ	1前	2								1
	人体の構造と機能Ⅲ	1後	1								1
	栄養学	1後	2								1
	感染免疫学	2前	2								1
	疾病治療論Ⅰ(循環器)	2前	1								1
	疾病治療論Ⅱ(呼吸器・消化器)	2前	1								2
	疾病治療論Ⅲ(内分泌・ 腎・代謝・婦人科)	2前	1								2
	疾病治療論Ⅳ(造血管・運動器)	2後	1								2
	疾病治療論Ⅴ(脳神経・精神)	2後	1								2
	病理病態学	4後		1							1
	薬理学	2前	1								1
	保健統計学	2後	2								1
	保健医療福祉行政論	1後	2								1
	公衆衛生学	2前	1								1
	看護関係法規	4後	1								1
	疫学	2後		2							1
小計(17科目)	－	21	3	0	0	0	0	0	0	16	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	看護学概論	1前	1			1					
	看護援助論	1前	2			1		1			
	基礎看護技術演習Ⅰ	1前	2			1		1			
	基礎看護技術演習Ⅱ	1後	2			1		1			
	基礎看護技術演習Ⅲ	2後	2			1		1			
	看護倫理	3前	1			1					
	基礎看護学実習Ⅰ	1前	1			1		2	1		
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1		2	3		
	チーム医療論	1前	1			1		1			1
	成人看護学概論	2前	1			1					
	成人看護援助論Ⅰ	2前	2				1				
	成人看護援助論Ⅱ	2前	2					1			
	成人看護援助論Ⅲ	2後	1				1	1			
	成人看護学実習Ⅰ	3後	2			1	1	1			
	成人看護学実習Ⅱ	3後	3			1		1			
	成人看護学実習Ⅲ	4前	1			2	1	1			
	老年看護学概論	2前	1			1					
	老年看護援助論Ⅰ	2後	2			1					
	老年看護援助論Ⅱ	3前	1			2		1	1		
	老年看護学実習Ⅰ	3後	2			2		1	1		
	老年看護学実習Ⅱ	3後	2			2		1	1		
	小児看護学概論	2前	1			1					
	小児看護援助論Ⅰ	2後	2			1			2		
	小児看護援助論Ⅱ	3前	1			1			2		
	小児看護学実習	3後	2			1			2		
	母性看護学概論	2前	1			1					
	母性看護援助論Ⅰ	2後	2			1					
	母性看護援助論Ⅱ	3前	1			2					
	母性看護学実習	3後	2			2					
	精神看護学概論	2前	1			1					
	精神看護援助論Ⅰ	2後	2			1					
	精神看護援助論Ⅱ	3前	1			2		1			
	精神看護学実習	3後	2			3		1			
	地域包括ケア論	1前	1			1		1			1
	在宅看護学概論	2前	1			1					
	在宅看護援助論Ⅰ	2後	2			1			2		
	在宅看護援助論Ⅱ	3前	1			1			2		
	在宅看護学実習	3後	2			1	1		2		
	公衆衛生看護学概論	1後		2		1					2
	公衆衛生看護活動論Ⅰ	2前		2		1			1		1
	公衆衛生看護活動論Ⅱ	2後		2		1			1		
	公衆衛生看護支援技術	2後		2		1			2		
	地域診断論	3前		1		1			1		
	健康教育論	3前		1							1
	公衆衛生看護活動展開論実習	4前		3		2			2		
	個人・家族・集団・組織の支援実習	4前		2		2			2		
	災害看護論	2前		1			1				
	災害看護活動論Ⅰ	3前		1			1				
	災害看護活動論Ⅱ	4後		1			1				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	看護学概論	1前	1			1					
	看護援助論	1前	2			1		1	1		
	基礎看護技術演習Ⅰ	1前	2			1		1	1		
	基礎看護技術演習Ⅱ	1後	2			1		1	1		
	基礎看護技術演習Ⅲ	2後	2			1		1	1		
	看護倫理	3前	1			1					
	基礎看護学実習Ⅰ	1前	1			1		1	2		
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1		1	4		
	チーム医療論	1前	1			1		1			1
	成人看護学概論	2前	1			1					
	成人看護援助論Ⅰ	2前	2				1				
	成人看護援助論Ⅱ	2前	2					1			
	成人看護援助論Ⅲ	2後	1				1	1			
	成人看護学実習Ⅰ	3後	2			1	1	1			
	成人看護学実習Ⅱ	3後	3			1		1			
	成人看護学実習Ⅲ	4前	1			2	1	1			
	老年看護学概論	2前	1			1					
	老年看護援助論Ⅰ	2後	2			1					
	老年看護援助論Ⅱ	3前	1			2		1	1		
	老年看護学実習Ⅰ	3後	2			2		1	1		
	老年看護学実習Ⅱ	3後	2			2		1	1		
	小児看護学概論	2前	1			1					
	小児看護援助論Ⅰ	2後	2			1			2		
	小児看護援助論Ⅱ	3前	1			1			2		
	小児看護学実習	3後	2			1			2		
	母性看護学概論	2前	1			1					
	母性看護援助論Ⅰ	2後	2			1					
	母性看護援助論Ⅱ	3前	1			2					
	母性看護学実習	3後	2			2					
	精神看護学概論	2前	1			1					
	精神看護援助論Ⅰ	2後	2			1					
	精神看護援助論Ⅱ	3前	1			2		0			
	精神看護学実習	3後	2			3		0			
	地域包括ケア論	1前	1			1		1			1
	在宅看護学概論	2前	1			1					
	在宅看護援助論Ⅰ	2後	2			1			2		
	在宅看護援助論Ⅱ	3前	1			1			2		
	在宅看護学実習	3後	2			1	1		2		
	公衆衛生看護学概論	1後		2		1					2
	公衆衛生看護活動論Ⅰ	2前		2		1			1		1
	公衆衛生看護活動論Ⅱ	2後		2		1			1		
	公衆衛生看護支援技術	2後		2		1			2		
	地域診断論	3前		1		1			1		
	健康教育論	3前		1							1
	公衆衛生看護活動展開論実習	4前		3		2			2		
	個人・家族・集団・組織の支援実習	4前		2		2			2		
	災害看護論	2前		1			1				
	災害看護活動論Ⅰ	3前		1			1				
	災害看護活動論Ⅱ	4後		1			1				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	看護管理論	4前	1			1					
	国際看護論	4前		1			1				
	看護情報論	4後		1		1					
	医療安全論	4後		1		1					
	統合実践演習	4前	1				1	2	2		
	統合実践実習	4前	2			12	2	4	5		
	看護学研究法	3前	2			3					
	看護課題研究	4通	2			13	2	4	5		
	看護実践力演習	4後		1		1					
	家族看護論	3前		2		1					
	へき地看護論	4前		1		1					
	リハビリテーション看護	4前		1		1					
	緩和・ターミナルケア看護論	4後		2		1	1				
	認知症ケア論	4後		2		2					
小計(63科目)	－	69	28	0	13	2	4	5	0	3	
合計(112科目)		－	104	62	2	14	2	4	5	0	34
卒業要件及び履修方法											
基礎教育科目では必修科目14単位、選択科目から16単位以上を選択し、計30単位以上を修得する。専門教育科目では、専門基礎科目として必修科目21単位、専門科目として必修科目69単位、選択科目「看護の統合と実践」「特論」から6単位以上を選択し、計96単位以上を修得する。従って、合計126単位以上を修得すること。【履修科目の登録上限： 45単位(年間)】 保健師国家試験受験資格希望者は、卒業要件(126単位)の他に、保健師教育課程に必要な科目17単位を修得し、合計143単位以上を修得することとする。											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	看護管理論	4前	1			1					
	国際看護論	4前		1			1				
	看護情報論	4後		1		1					
	医療安全論	4後		1		1					
	統合実践演習	4前	1				1	2	3		
	統合実践実習	4前	2			12	2	3	6		
	看護学研究法	3前	2			3					
	看護課題研究	4通	2			13	2	3	6		
	看護実践力演習	4後		1		1			1		
	家族看護論	3前		2		1					
	へき地看護論	4前		1		1					
	リハビリテーション看護	4前		1		1					
	緩和・ターミナルケア看護論	4後		2		1	1				
	認知症ケア論	4後		2		2					
	小計(63科目)	-	69	28	0	13	2	3	6	0	3
合計(112科目)		-	104	62	2	14	2	3	6	0	34
卒業要件及び履修方法											
基礎教育科目では必修科目14単位、選択科目から16単位以上を選択し、計30単位以上を修得する。専門教育科目では、専門基礎科目として必修科目21単位、専門科目として必修科目69単位、選択科目「看護の統合と実践」「特論」から6単位以上を選択し、計96単位以上を修得する。従って、合計126単位以上を修得すること。【履修科目の登録上限： 45単位(年間)】 保健師国家試験受験資格希望者は、卒業要件(126単位)の他に、保健師教育課程に必要な科目17単位を修得し、合計143単位以上を修得することとする。											

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・専任教員（講師）1名就任辞退の理由により、「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。
 ・同上理由により、「精神看護援助論」「精神看護学実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
 ・同上理由により、「統合実践実習」「看護課題研究」の専任教員等の配置を「講師4」から「講師3」に変更。
 ・専任教員（助教）1名就任の理由により、「看護援助論」「基礎看護技術演習Ⅰ」「基礎看護技術演習Ⅱ」「基礎看護技術演習Ⅲ」「看護実践力演習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
 ・同上理由により、「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に、「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教4」に変更。
 ・同上理由により、「統合実践実習」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教3」に、「統合実践実習」「看護課題研究」の専任教員等の配置を「助教5」から「助教6」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
70 科目	40 科目	2 科目	112 科目	70 科目 [0]	40 科目 [0]	2 科目 [0]	112 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{112} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用地/校舎敷地：借 用面積21,553.20㎡、 期間25年 グランド：借用面積 8,007㎡、期間25年 運動場用地：校舎敷地 と別地 (徒歩5分)			
	校 舎 敷 地	20,921.80 ㎡	819.34 ㎡	0 ㎡	21,741.14 ㎡				
	運動場用地	8,007.00 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	8,007.00 ㎡				
	小 計	28,928.80 ㎡	819.34 ㎡	0 ㎡	29,748.14 ㎡				
	そ の 他	0 ㎡	6,422.22 ㎡	0 ㎡	6,422.22 ㎡				
	合 計	28,928.80 ㎡	7,241.56 ㎡	0 ㎡	36,170.36 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積 21,553.20㎡ 期間25年				
	10,071.76 ㎡ (8,561.90 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	10,071.76 ㎡ (8,561.90 ㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	4 室	15 室	5 室	1 室 (補助職員 人)	0 室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	看護学部 看護学科			21 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	看護学部	26,400 [1,200] (4,325 [581])	92 [10] (19 [10])	6 [6] (2 [2])	750 (72)	3,699 (3,699)	25 (25)		
	計	26,400 [1,200] (4,325 [581])	92 [10] (19 [10])	6 [6] (2 [2])	750 (72)	3,699 (3,699)	25 (25)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	740.31㎡		102		40,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	587.42㎡		該 当 な し 該 当 な し						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員研究費等見直しの ため(元)
		教員1人当り研究費等	300 450 千円	450千円	図書購入費	20,000千円	1,000千円	1,000千円	
	共同研究費等	4,000千円	4,000千円	設備購入費	150,000千円	—	—	図書費には電子ジャー ナル、データベースの整備費 を含む	
		学生1人当 り	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次		第6年次
		納付金	1,950千円	1,650千円	1,650千円	1,650千円	—		—
	学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金収入、補助金収入、雑収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	長 岡 崇 徳 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
看護学部	4	80	0	80	学士 (看護学)	0.53	—	平成31	—	
看護学科	4	80	0	80	学士 (看護学)	0.53	—	平成31	新潟県長岡市深沢 町2278番地8	
大学全体	4	80	0	80	—	0.53	—	—	—	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成30年)	設置の趣旨・目的が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	遵守事項 本学では、専門職業教育として、「生命の尊重を基盤とした豊かな人間性と倫理観を涵養するとともに、専門的知識・技術を修得させ、科学的根拠に基づいた判断力と問題解決能力を養い、多職種と連携・協働して地域社会における保健・医療・福祉の向上に貢献できる看護専門職者を育成する」ことを教育の目的とし、専門学校の看護学科から4年制大学の看護学科に転換することを計画し平成31年4月に開学した。今後この教育水準を一層向上させるべく設置計画を履行していく。	履行中 本学の特徴（地域密着型大学、多職種と連携・協働できる看護専門職者の育成、地域の特性を活かした人材の育成）を前面に打ち出した教育研究活動を展開する。地域密着への取り組みとしては学内に専門委員会を立ち上げ活動していく。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	—

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

・FD委員会設置（平成31年4月1日制定）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・FD委員会 4月25日開催（委員6名出席）

c 委員会の審議事項等

本学のFD委員会においては以下の事項を所掌している。

- (1) 教育研究活動改善の方策に関する事
- (2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事
- (3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事
- (4) FDに関する教員への各種コンサルティングに関する事
- (5) その他FDに関連する事

また、以上の審議事項で決定した事項に関しては、教務委員会との調整を図りながら検討、実施する。

② 実施状況

a 実施内容

- ①FDニーズについて教員にアンケートを行い、必要性のあるものから取り組む
- ②学生による授業評価（授業アンケート）
- ③効果的な実習指導方法の検討
- ④ピアレビュー（教員相互による授業点検評価）

b 実施方法

- ①は委員長がアンケート案を作成し教員にアンケートを行う。
- ②は資料を収集し授業アンケート案を作成する。教務委員会に提案予定。
- ③実習委員会とも連携を図りながら計画する。
- ④はFD委員会で検討しできるだけ早くピアレビューが実施できるようにする。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成31年4月開学の為、実績なし。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成31年4月開学の為、実績なし。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

8回で終了する科目に間に合うように実施予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教授会における報告とホームページ等を活用した公開を予定。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(目的)

第1条 この規程は、長岡崇徳大学（以下「本学」という。）教授会規程第7条第7号の規定に基づき、本学にFD（Faculty Development）（以下「FD」という。）委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる者（以下「委員」という。）をもって構成する。

- (1) 各専門領域から選出された教員 各1名
- (2) 教務・学生課長
- 2 委員会に委員長を置き、学長が指名した者をもって充てる。

(任期)

第3条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 委員に欠員が生じた時は、委員を補うことができる。この場合の任期は、前任者の残存期間とする

(審議事項)

第4条 本委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育研究活動改善の方策に関すること
- (2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関すること
- (3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関すること
- (4) FDに関する教員への各種コンサルティングに関すること
- (5) その他FDに関連すること

(議事)

第5条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、出席委員の過半数をもって議事を決する。
- 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名する委員が、その職務を代行する。
- 4 委員会は、必要に応じ委員以外のものを委員会に出席させ、意見を聞くことができる。

(実施事項の運用)

第6条 第4条の審議事項で決定した事項に関しては、教務委員会との調整を図りながら検討、実施するものとする。

(事務)

第7条 この委員会の事務は、教務・学生課において処理する。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、教授会の議決を経て、学長が決定する。

附則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

該当なし

- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

- c 委員会の審議事項等

該当なし

- d その他

該当なし

② 審議状況

- a 審議した内容

該当なし

- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は前身の看護専門学校から4年制大学看護学科への転換を計画した。そして教育目的として、「生命の尊重を基盤とした豊かな人間性と高い倫理観の涵養を図るとともに、専門的知識・技術を修得させ、科学的根拠に基づいた判断力と問題解決能力を養い、多職種と連携・協働して地域社会における保健・医療・福祉の向上に貢献できる看護専門職者を育成する」ことを掲げ、地域密着型大学を目指していく所存である。また、本学は新潟県中越地域に立地し、今後更に進む高齢化に向けた医療・生活の支援といった、この地域特有のニーズに応えるべく看護実践者の育成に重点を置き、大学としての存在価値を高めていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・年度ごとにまとめてホームページ等で公表予定である。

b 公表方法

・公開範囲の内容、方法については今後検討していく。

③ 認証評価を受ける計画

・完成年度以降に評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和2年 3月31日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。